

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2005-516479
起案日	平成23年 1月25日
特許庁審査官	長谷川 素直 2948 5P00
特許出願人代理人	新居 広守 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出してください。

理由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

・請求項18に対して、引用文献1

備考

引用文献1には、再生状況とリンク情報を対応づけることが開示されている。同文献には、テーブルを用いることも開示されている。(段落[0025], 図3など)

請求項18に係る発明は、引用文献1に記載の発明に基いて、当業者が容易に発明をすることができたものである。

引用文献等一覧

1. 特開2002-366418号公報

<拒絶の理由を発見しない請求項>

請求項1-17, 19-23に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しておりません。

拒絶の理由が新たに発見された場合には、拒絶の理由が新たに通知される場合があります。

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 IPC H04N7/16-7/173 (2006. 01)

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではありません。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせがございましたら、下記までご連絡下さい。

特許審査第四部 映像システム(テレビジョン) 担当:長谷川

TEL. 03(3581)1101 内線 3579